

つながりを大切にし、  
かかわりを深める児童生徒の育成



# ユネスコスクール便り

No.135

令和6年2月22日  
大牟田市1社スクール  
担当者通信

## 各校の特色ある実践事例を紹介します！



### 三池の歴史遺産を調べよう 三池小学校

6年生は、三池の歴史を学ぶ会の方々をゲストティーチャーとしてお招きして、三池校区の歴史遺産について学びました。児童は、三池藩陣屋跡に建てられた三池小学校周辺、妙見神社や明正寺等の校区の北側、三池新町彌劔神社や寿光寺等の校区の南側、金井寺や大間神社等の校区の西側の4グループに分かれ学習を行いました。社会科で学習した日本の歴史と結び付けながら三池校区をみてみると、たくさんの繋がりがあふれ、ふるさと三池のよさを大切にしたいという思いを深めていました。リーフレットを作成し、地域の歴史遺産の素晴らしさを発信することができました。



地域の歴史遺産を巡る子どもたち



### 「つながり合う心」 平原小学校

平原小学校では、「平原が好きな子どもの育成」という重点目標で教育活動に取り組んでいます。ESDに関しては、重点目標の達成のために「地域とのつながり」をキーワードに推進しています。3年生では、地域で暮らす高齢者の方と交流したり、その方々をサポートする高齢者施設の取組や思いを知ったりする中で、人々が支え合うことの温かさを感じながら平原の人のすばらしさを学習します。そして、自分達にできることを考えて実践していきます。



高齢者施設「ひらばるの家」での交流の様子



### 高取ホタルプロジェクト 高取小学校

高取小学校では、校区を流れる長溝川に生息するホタルやカワニナなどを教材として「高取ホタルプロジェクト」の学習に取り組んでいます。環境保全に取り組む地域の方々に関わることで、校区の自然の良さを認識するとともに、自分たちにできることを考え、実践しています。この学習は、毎年4年生の終わりに、5年生から引き継いでいます。本年度も、地域の坂寺さんにアドバイスをいただきながら、長溝川に生息しているホタルの観察やカワニナの棲家の整備を行いました。現在、たくさんのカワニナの赤ちゃんが育ち、春には長溝川に放流したいと思っています。5月から6月の間には、たくさんのホタルが見られます。ぜひ見に来てください。



カワニナの生態について教えてもらう子どもたち



### 「ふるさとの海との共生」を考える児童の育成 天領小学校

天領小学校では、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を活用する」の四つの視点から学びを深めています。本年度は、大牟田ロータリークラブ70周年記念事業として、「プロジェクト SEA」の学習を全面的にサポートしていただきました。3年生はこれまでの学習に加え、ガザミ(ワタリガニ)の標識放流を行いました。4年生はカヌー体験の日に、5年生は旧三池海水浴場のゴミ拾いの日にバスを出していただき学習を行うことができました。6年生は台湾と繋がり、海外にも海を大切にしていこうと学んでいる友だちがいること知り出会うことができました。このように、様々な経験を通して、「ふるさとの海との共生」を考える子どもが育っています。



ガザミ(ワタリガニ)の放流